

橋梁の耐震補強について

道路管理課 ◎米須 勇

平良 博孝

○目取眞正樹

1. 目的

3月11日に東北地方太平洋沖地震の発生により地震と津波による甚大な被害が発生した。

これまで、兵庫県南部地震を受けた橋梁の耐震補強対策を行ってきているが、今回の震災を受けて想定している事象が地震以外に津波も考慮に入れた耐震対策を実施しなければいけない状況であると考えられることから耐震対策に対する考察を行うものである。

2. 内容

これまで実施してきた耐震対策の紹介を行い、現在実施している耐震対策の実施状況と今後の対策の内容等の考察をおこなう。

3. 結論

現在選定したルート（1 way）で耐震対策等を実施している箇所は、ほとんどが沿岸部に位置していることから津波来襲時に被災した場合早期復旧は困難な状況である。

4. 今後の問題点

東北地方太平洋沖震災により地震に対する対策はもとより津波の影響を考慮に入れたルート選定及び橋梁の対策を実施する必要があると考える。